

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計 動向 関連	良くなる	-	-	
	やや良くなる	-	-	
	変わらない	商店街（代表者）	・4月にかけて、原材料の値上げが始まる。それに伴い商品価格も値上げする予定であり、プラス材料はない。	
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	・ガソリン、食材など諸物価高騰の影響で、消費者の財布のひもは引き続き固い。	
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・ガソリン価格の高止まりのため、土産物の購入単価の低下は今後も続く。	
		百貨店（売場主任）	・婦人ヤング衣料は、再値下げしても手を出さない動きになっているため、今後も購買意欲は低下したままである。	
		コンビニ（エリア担当）	・消費者の購買意欲は現状維持であり、今後も売上の前年割れは継続する。	
		衣料品専門店（経営者）	・今後來客数が増加しても、本当に必要な物しか買わない傾向は変わらない。	
		衣料品専門店（企画担当）	・衣料品への消費環境は厳しく、先行き好転する状況にはない。	
		乗用車販売店（従業員）	・燃料費の高止まりの中、燃費の良い小型車へとシフトする動きは変わらない。新車への台替えはあっても、単価は低下する一方である。	
		乗用車販売店（従業員）	・2、3月の増販期を過ぎると、次の新車発表まではかなり厳しい。ガソリン高もあり、新車への台替需要はなかなか見込めない。	
		一般レストラン（従業員）	・4月に小麦粉の再値上げがある。物価上昇の影響は今後も続く。	
		スナック（経営者）	・客の間では景気の先行きに対する懸念があり、しばらくは財布のひもが固い状態が続く。	
		観光型ホテル（販売担当）	・来月以降の予約件数は、前年同期比で前年を3割強も落ち込んでいる。厳しい状況は今後も続く。	
		都市型ホテル（支配人）	・4月以降の宴会予約は徐々に入りつつあるが、仕入コストが値上がりするため、良くはならない。	
		都市型ホテル（従業員）	・予約件数に変化はない。	
		都市型ホテル（営業担当）	・景気回復は不透明感が強く、購買意欲が下がっている。	
		旅行代理店（従業員）	・冷凍ギョウザの中毒事件の影響で、中国旅行の予約件数が減少している。中国以外の海外旅行の申込み、燃油サーチャージ高騰の影響で今一つである。ただし、国内旅行は1泊旅行を中心に多くの申込がある。	
		テーマパーク（職員）	・高速道路の開通という好材料があるが、ガソリン、食品などの値上がり等の不安材料もある。	
		ゴルフ場（経営者）	・予約件数は前年を上回っているが、単価の低下が続いている。	
		住宅販売会社（従業員）	・大型物件の着工、完工は、今後は多少早くなるものの、あまり変わらない。また、ピアチェックの必要がない小型物件が多くなりそうであるが、量と価格の問題で限られた場所しか対応できない。	
		やや悪くなる	商店街（代表者）	・オリンピックを控えてはいるが、デジタルテレビの販売は失速している。諸物価の高騰に伴い、客の購買意欲は今後も冷え込む。
			一般小売店〔酒類〕（経営者）	・日用品が値上がりしている中、消費者が必要最低限の量しか購入しない傾向は今後も続く。売手側も値上がり分を販売価格に100%転嫁できないため、体力はますます低下する。
			一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・贈答品を贈る回数が減ると、御礼の回数も減るため、しばらく悪循環が続く。可処分所得が少ないため、贈答品に使う経費も少ない。
			一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	・諸物価の高騰が影響して、先行きはより悪くなる。
			百貨店（売場主任）	・例年この時期は4月からの新入社員の客が多いが、今年は少ない。このような客は夏前にも来店する傾向があったが、今の時期にこのように少ないと、2、3か月先の売上も厳しい。
			百貨店（企画担当）	・例年2月の婦人服の売行きによって春夏商戦の行方を見定めるが、今年は非常に動きが鈍く、ヒット商品も全く見られない。そのため、春夏商戦は非常に厳しくなる。

	百貨店（販売促進担当）	・急激な物価上昇により生活が圧迫され、買い控えが起きる。	
	百貨店（外商担当）	・客に経済的な余裕を感じられず、外商商材を中心に販売は厳しくなる。	
	百貨店（婦人服販売担当）	・毎日の生活だけでなく、将来にも不安が強い。当分の間、財布のひもは固いままである。	
	百貨店（販売担当）	・2、3か月先は価格改定の後に当たり、反動減が起きる。ボーナス前ということもあり、よほどのヒット商品がない限り厳しい。	
	スーパー（店長）	・小麦関連の製品など諸物価の高騰が続くため、大きな影響が出てくる。	
	スーパー（店長）	・食料品の相次ぐ値上げに加えて、偽装問題や中国を始めとする外国製品、冷凍食品に対する不信が、買上点数の減少につながっている。食に対する不信は、今後も収まらない。	
	スーパー（店員）	・冷凍ギョウザの中毒事件以来、商品の原材料の産地や加工国に関する問い合わせが増えている。信用を取り戻すまでは、落ち込んだまましばらくは回復が見込めない。	
	スーパー（営業担当）	・原材料の高騰やそれに伴う商品値上げに加えて、ガソリン価格の高騰、株価の下落もあり、厳しい消費環境にある。競合店との競争も激化しており、経営も厳しくなる。	
	スーパー（販売担当）	・近隣で大型店舗が開業するため、影響を受ける。	
	スーパー（仕入担当）	・食品の値上げが徐々に広がっており、消費者の購買意欲を減退させる。余分な物を買わない、高額商品を買わない、安売りを待つといった購入姿勢は今後も続く。	
	コンビニ（経営者）	・取引先の飲食店が、2月末から3月中旬にかけて2軒閉店する。	
	コンビニ（エリア担当）	・近隣のコンビニやスーパーとの競争は、ますます厳しくなる。	
	コンビニ（商品開発担当）	・小麦や食品、生活必需品の再値上げ、ガソリン価格の高止まりは今後も続く。	
	住関連専門店（営業担当）	・建築確認申請の遅れに伴う問題は正常に戻りつつあるものの、建築の遅れによる影響は今後出てくる。また、建築の見直しや中止も出始めている。	
	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・食に対する不信感は、当面払しょくできない。	
	観光型ホテル（経営者）	・燃料価格の高止まりにより仕入価格が下がらないため、企業収益に影響が出てくる。	
	テーマパーク（職員）	・予約状況が良くない。	
	その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕（経営者）	・見積り依頼や引き合いが少ない。	
	悪くなる	百貨店（販売担当）	・ファッション関係には大きな変化がなく、ここ何年か同じようなスタイルが継続している。今後売れる春夏商材は見当たらない。
		その他専門店〔石材〕（経営者）	・建築確認申請の遅れに伴い倒産した企業は既に多いが、この影響は今後も続く。
		一般レストラン（経営者）	・ビールの値上げに伴い、当店でも商品を値上げする。そのため、客足はまた鈍くなる。
		高級レストラン（スタッフ）	・個人所得の伸び悩みや消費者物価の上昇に加えて、食に対する不安や不信があり、家族客、法人客共に低迷が続く。
		パチンコ店（経営者）	・規制強化により、業界全体が落ち込む。
		理容室（経営者）	・客は、安い理容店へとますます流れていく。
		住宅販売会社（経営者）	・物価上昇は今後も続くため、先行き不安も続く。
企業動向関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	・中国では現在、大雪の影響で一部の工場が稼働していない。これが稼働し始めれば、中国向け製品の輸出が伸びる。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・4月以降、設備投資などの受注が増加する。
		輸送用機械器具製造業（統括）	・主要取引先からの受注は順調に増加しており、今後も改善が見込まれる。
	変わらない	食料品製造業（企画担当）	・取引先の販売量は回復せず、原価の高騰に伴う商品値上げも受け入れられないため、状況は変わらない。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・取引先、下請依頼先共に、仕事量は近年になく減少している。回復の兆しも全くない。
		金属製品製造業（経営者）	・原材料の高止まりは続き、特に鉄鋼は4月以降に大幅値上げがある。建築確認申請の遅れによる影響も、引き続き大きい。

	金属製品製造業（従業員）	・取引先の慎重な姿勢は変わらず、仕事量は増えない。	
	電気機械器具製造業（営業担当）	・業績を下方修正する関係先が目立っており、良くなる要素は見当たらない。	
	輸送業（経営者）	・先行き不安が大きく、消費の抑制が今後も続くため、物流も増えてこない。	
	輸送業（従業員）	・原油を始めとする輸入原材料価格の高騰は今後も続き、好転する兆しは全くない。燃料価格の高止まりが続くと、物流業界では倒産が増える。	
	通信業（営業担当）	・原油の高騰などが続くため、しばらくは厳しい状況が続く。	
やや悪くなる	化学工業（企画担当）	・来期に向けて、燃料費や設備投資費が増加する。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	・来期の予算編成中であるが、営業部門からは今期より厳しい数値が出ている。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	・仕入価格の高騰は今後も続く。	
	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・鋼材価格の上昇分を製品価格に転嫁しにくいいため、利幅は低下する。その一方で、物流業者からは値上げ要請がある。	
	輸送業（エリア担当）	・原油価格の高騰に伴い設備投資などが抑えられているため、貨物量は減少する。	
	金融業（企画担当）	・原材料高に伴う仕入費用の増加が、大きな影響を及ぼす。売上が落ち込むと赤字になる業種が散見される。	
	不動産業（経営者）	・建築確認申請の遅れが続き、倒産物件などが出回る。	
	広告代理店・新聞販売店「広告」	・4～6月期の広告出稿依頼が、やや遅くなっている。受注量が減少する前兆である可能性がある。	
	新聞販売店「広告」（店主）	・分譲マンションの売れ残りが目立ち、折込広告の回復も難しい。	
	経営コンサルタント	・個人によるマンション投資などに対して、金融機関が融資を抑制しつつある。今後は収益投資物件の受皿がなくなり、投売りが始まる可能性がある。そうなると、ファンド関連物件を中心に地価は暴落する。	
	公認会計士	・中小企業の業績悪化の要因である原材料高や燃料費高などに改善の兆しが無い。また、建築確認申請の遅れに伴う影響も、大きく改善する兆しが無い。	
	その他サービス業「ソフト開発」（社員）	・営業担当からは、新規取引先や新規案件について、良好な意見は出ていない。	
悪くなる	窯業・土石製品製造業（経営者）	・住宅着工件数が多少回復しても、海外からの格安品の流入を前にしては、操業を断念せざるを得ない状況に変わりはない。	
	鉄鋼業（経営者）	・原料高、副資材高を理由に、鉄鋼メーカーは販売単価を約3割上昇させる。仕事量が増えないなかで、鉄鋼価格が値上がりするため、中小企業の経営は圧迫される。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・4月からの素材単価の値上がりに対応するのに、時間が掛かる。	
雇用 関連	良くなる	-	
	やや良くなる	-	
	変わらない	人材派遣会社（経営企画）	・顧客ニーズは堅調であるが、採用環境の厳しさは続くため、変わらない。
		人材派遣会社（営業担当）	・需要の高止まりが見込まれる業種もあるが、一部の業種の需要は減少する。
		人材派遣会社（社員）	・人材ニーズは堅調であるが、人材不足は今後も続くため、変わらない。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・北米向け輸出の減少が予想されるが、製造業各社からの生産計画変更の話は、今のところはない。
		新聞社「求人広告」（営業担当）	・新卒募集は、昨年ほどではないが若干増加している。しかし、中途採用の求人広告に陰りが見られる。また、地域や業種による変動が大きくなっているが、このような時は求人が減る傾向にある。
	やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・新規受注の獲得に向けた、明るい材料はない。また、業界内の競争も激しく、売上を伸ばすことは難しい。
		職業安定所（職員）	・経営悪化により退職勧奨、希望退職者を募集する企業が散見されるため、今後は悪くなる。
	悪くなる		